

かみそ NOW

上祖師谷自治会総務部広報委員会 TEL / FAX 03-5315-3646

住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまちをめざして、役立つ情報やできごと、お知らせなど、上祖師谷の「いま」をお伝えする地域のしんぶんです。

神明社例大祭を終えて

10月6日(土)・7日(日)

上祖師谷神明社奉賛会会長 吉岡誠市



わが町の氏神様「神明社」の例大祭は、例年10月第一日曜日に「本宮祭」、前日の土曜日に「宵宮祭」が開催される。実はこの2日間は表の顔であり、裏の顔としての「舞台掛け」、「舞台壊し・鉢洗い」を加えた「4日間」が神明社の「祭り」である。

「舞台掛け」は大祭の一週間前に行う。境内及び社殿の清掃と式典準備等である。氏子・奉賛会・地域協力者の皆さん約50名が参集する。

「宵宮祭」は町内巡行に向けて神輿・大太鼓・囃子の組み立て、飾り付け、御霊移しが行われる。その後、神楽殿で地域の皆さんによる歌・踊り・太鼓等のパフォーマンスが行われる。境内には、祭りの風物としてなくてはならない「露店」が数多く軒を並べ、夕暮れともなると、店先は子どもたちで賑わう。

「本宮祭」午前11時、巡行の始まりである。囃子・大太鼓・こども神輿・おとな神輿の順に宮出しをして町内を巡る。途中5カ所のお神酒所で休憩(飲食あり)し、午後6時に宮入りする。宮入り後、



おとな神輿が境内をもみ歩き、最高の盛り上がりとなる。なかなか収まらない神輿も、責任者の拍子木一打ちですんなりと収まる。その後、神楽殿においてプロによる、歌・お笑い・マジックなどが模様され終演を迎える。



今年の祭りを振り返ると、台風のため舞台かけの延期、強風による松の大木の倒壊などの問題が生じました。しかし、大祭当日は素晴らしい秋晴れの下、大過なく開催出来ました。これも裏方を担った皆さんの働きの賜物です。また、神酒所を開設していただいた近隣の商店会・自治会・企業・住民の皆様のお力により、町内巡行を無事行うことが出来ました。紙面をお借りして御礼申し上げます。祭は神社を中心とした地域の伝統文化であり、町ぐるみで楽しむ数少ない催しの一つだと思います。住みやすい町を維持継続していくためにも、知恵を出し合い協力して、楽しい「祭り」をいつまでも続けましょう。

地域をつなぐ感動の音

10月14日(日)

第18回祖師谷公園いこいのコンサート



「素敵な時間をありがとうございました」と、帰り際に小さな子ども連れのお母さんが話しかけてきた。祖師谷公園いこいのコンサートは18回目を迎え、すっかり地域に定着したようだ。

そのこだわりの一端が、ジャズ界若手のユニットに人気トランペッター二井田ひとみさんを加えた「渡邊恭一Swingers」のスイングジャズと、ヨーロッパジャズを味わっていたらこうと企画した「有田純弘ジブシージャズ」との競演である。

地元からは今年も「上祖師谷中学吹奏楽部」の皆さんが元気な演奏を聞かせてくれた。

また、地元の採れたて野菜の販売や千歳小おやじの会の焼きそばなど、地域団体の出店協力、自治会メンバーによるバルーンアートもあり、にぎやかで楽しい一日となった。

こうして開催できるのは、前日のテラス清掃や会場装飾の準備など、園やばる児童館、地元企業の皆さんのご協力あってこそ。地域の絆をつなぐ心強い要だ。



祖師谷公園



絶好のイベント日和で、トライアングルフェスタ開催

11月11日(日)

これが3年連続金賞の響き 千歳小吹奏楽団



澄み切った秋空の下、都立祖師谷公園に吹奏楽の響きが聞こえてきた。千歳小吹奏楽団の演奏だ。

千歳小吹奏楽団と言え、この10月仙台で開催された東日本学校吹奏楽大会3年連続金賞を受賞したばかりの名門だ。その演奏は会場に集まった多くの観客の心にしつかりと響いていた。とは言え、千歳小吹奏楽団がここに至るには、本人たちの努力はもとより保護者の皆さんや、先生方の並々ならぬ支えがあったからに違いない。

これからも感動の音を多くの人に伝えて欲しいと思う。

上祖師谷自治会も出店

自治会広報は、「いこいのコンサート」や「元氣はつらつ」「夕涼み会」などのチラシ等をパネルに掲示し、自治会の紹介や会員募集に努めた。

同時に牛乳パックの「ブー」の手作りコーナーを初出店。親子の皆さんに楽しんでいただき、なかなかの人気だった。音楽のまちづくりをめざす上祖師谷自治会ならではの催しで、今後のPRにもつながったと思う。

上祖師谷の皆さん、ぜひ一緒に活動しませんか。自治会活動も結構楽しいですよ。



元気はつらつ 【主催】上祖師谷自治会 福利厚生部

自治会が主催する年間を通したイベント。どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。回覧版、自治会掲示板でお知らせします。
*毎月第2金曜日開催

第6回 上祖師谷あんしんすこやかセンター 「認知症サポーター養成講座」

9月14日(金) 神明社社務所

例えば、スーパーのレジで清算に手間取っている人の列に並んだり、ゴミの集積所でルールを守らない高齢者を目にしたとき、あなたはどのような行動をとるだろうか。しかしその原因が認知症にあるとしたら。いまや認知症は決して特別な病気ではない。85歳以上では実に4人に1人、その症状があるとも言われ、若年性のケースも多いと聞く。そんな認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族をどう見守るか。あんしんすこやかセンターにお話しいただいた。

熱心にメモを取る人、うなずきながら話を聞いている人など、関心の高さが伺われた。認知症はもはや他人事では済まされない。誰もが自分自身や家族のこととして考え、理解し、地域全体で見守り支え合うことが大切だ。私たちの上祖師谷もそんなまちでありたい。



第7回 「日舞発表」

10月12日(金) 神明社社務所

今回の元気はつらつは、自治会主催の日舞教室「秋桜の会」の発表会だ。普段の見慣れた姿とは違い揃いの着物姿で登場。日頃の練習の成果を發揮した。会場も大変な盛況で、カメラ片手に奥さんの応援に駆け付けたご主人やそれぞれのお友達もいてアツトホームな盛り上がりを見させていた。

大トリはやっぱりこの人。春ノ桜流光祥師匠。浅草公会堂や明治座でも披露したあでやかな舞で会場をうっとりさせた。



農業体験 地域の親子が対象

「じゃがいもクラブ」「だいこんクラブ」が、種の植付けから収穫まで、年3〜4回土曜日に開催しています。
※事前申込み制 ●世田谷区報・募集要項でお知らせします。

大きな大根に育ちますように！

だいこんクラブ間引き 10月20日(土)

今日は、だいこんの間引きの日。子どもたちにとつて初めての体験だと思ふ。もちろんお父さん、お母さんにとつても初めてかもしれない。

吉岡農園吉岡秀樹さんから間引きの注意を受けさつそく取りかかった。種まきの時、黒いビニールシートに開けられた10センチほどの穴に3粒ずつ蒔いた小さな種が葉を茂らせている。その中から一番大きな大根を残してあとは間引きするのだ。間引きされたミニ大根はスーパーなどのお店では見ることはないが、これが柔らかくてなかなかおいしい。



さあ、収穫だ！

だいこんクラブ 11月24日(土)

少し肌寒いが時おり日ものぞく。9月に蒔いた種は、2か月たつて大きく育った。参加者は期待でいっぱいだ。青少年地区委員内藤会長の挨拶の後、さつそく収穫だ。上祖師谷2丁目からお父さんと参加したひろゆきくんこと、のちゃんの兄妹も力を合わせて大きな大根を抜いていた。恒例の大きなコンテストでは、なんと青首大根の一番に内藤会長から2人に賞状が渡された。

収穫の後は青少年地区委員の皆さんが用意した、しっかりと煮込んだアツアツの大根をいただき解散。

今夜はどんな大根料理が食卓をにぎわすのだろうか。



どんぐり工作教室 都立祖師谷公園 10月21日(日)

午後1時、祖師谷公園管理事務所前広場に親子連れが集まっている。どんぐり工作教室の参加者だ。公園で拾ったどんぐりや松ぼっくり、小枝などで工作をする。子どもたちは作る事が大好きだ。自由な発想で、夢中で手を動かしている。カラマーカーやマニキュアでカラフルに仕上げている子もいる。出来上がった時の満足そうな笑顔がまた微笑ましい。

日頃は公園の管理に追われる職員の皆さんもそんな子どもたちの姿に嬉しそうだ。



第6回 蘆花まつり

都立蘆花恒春園多目的広場 10月28日(日)

今年は秋晴れに恵まれた。蘆花まつりは鳥山全域の町会自治会・商店街が一体となって開催される。

水野実行委員長や来賓の方たちの挨拶が終わる頃には沢山の人が、模擬店やフリマもにぎわい始めた。徳富蘆花ゆかりの地、熊本や伊香保からの物産展もすつかりお馴染みだ。地域を超えて触れ合いの輪は広がっている。2カ所から3カ所に増えたステージでは地域の小中生や大学生、大人による音楽やパフォーマンスに盛んな拍手が。



上祖師谷自治会もたこ焼きとソフトドリンクの店を出店。多くの人にご利用いただいた。

地元農園で職業体験 10月24日(水)〜26日(金)

千歳中学では2年生全員がこの時期、職業体験学習を行っている。今年も地域の約60か所の事業所で体験。上祖師谷四丁目の吉岡農園にも農業体験の4人の生徒たちが訪れていた。



筆者が訪ねた時は吉岡さんの指導のもとカンパニユラ(釣鐘草)の苗を植えていた。来春に花が咲くそうだと楽しみだね。

地元氏神様で七五三

11月11日(日)

晴れ渡った地元神明社には子や孫の七五三を祝う沢山の家族が訪れていた。上祖師谷6丁目のしおかちゃんも両親はもとより、両方のお祖父さん、お祖母さんの大きな愛に見守られて七歳の祝福を受けた。これから大きくなるにつれて楽しいこと、悲しいこと色々あると思うけど、上祖師谷の子どもたちには夢に向かって大きく羽ばたいて欲しい。



お知らせ

初詣 神明社 甘酒サービス 1月1日 0時〜2時

編集後記

今年もあとわずか。なんと日にちの立つのが早いことか。来年は、もっと時間を大切にしたいと思う。(y o)
最も催事が多い秋も終え、様々な思いで既に来年のことをイメージしてしまう。なぜかな。(c w)